

# 社会医学講座

## 予防医学分野

### 原著論文

- 1 Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi T, Kitajima T, Oza N, Nakashita S, Hara M, Iwane S, Takahashi, H Akiyama T, Ario K, Kawaguchi Y, Yasutake T, Iwakiri R, Ozaki I, Hisatomi A, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K: Hepatitis C virus infection enhances insulin resistance induced by visceral fat accumulation. *Liver Int.* 29: 213-220. 2009.
- 2 Imaizumi T, Higaki Y, Hara M, Sakamoto T, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Kudo S, Tanaka K: Interaction between cytochrome P450 1A2 genetic polymorphism and cigarette smoking on the risk of hepatocellular carcinoma in a Japanese population. *Carcinogenesis* 30: 1729-1734. 2009.
- 3 \*Inoue M, Sasazuki S, Wakai K, Suzuki T, Matsuo K, Shimazu T, Tsuji I, Tanaka K, Mizoue T, Nagata C, Tamakoshi A, Kurahashi N, Tsugane S: Green tea consumption and gastric cancer in Japanese: a pooled analysis of six cohort studies. *Gut* 58: 1323-1332. 2009.
- 4 Nakayama M, Iwakiri R, Hara M, Ootani H, Shimoda R, Tsunada S, Sakata H, Fujimoto K: Low-dose aspirin is a prominent cause of bleeding ulcers in patients who underwent emergency endoscopy. *J. Gastroenterol.* 44: 912-918. 2009.
- 5 Nishida Y, Yoshioka M, St-Amand J: Regulation of pituitary gene expression by adrenalectomy. *Obesity* 17: 114-120. 2009.
- 6 \*Otani T, Yoshii M, Kano M, Kitagawa M, Inagaki K, Kurioka N, Isomura T, Hara M, Okubo Y, Koyama H: Validity and reliability of kano Test for Social Nicotine Dependence. *Ann. Epidemiol.* 19: 815-822. 2009.
- 7 \*Tobina T, Nakashima H, Mori S, Abe M, Kumahara H, Yoshimura E, Nishida Y, Kiyonaga A, Shono N, Tanaka H: The utilization of a biopsy needle to obtain small muscle tissue specimens to analyze the gene and protein expression. *J. Surg. Res.* 154: 252-257. 2009.
- 8 Tsuruta T, Tanaka K, Ishikawa K, Yang C, Ueki H, Matsunaga M, Tatebayashi H, Yamada S: Dialysis-induced increase in the saliva level of paroxetine. *J. Clin. Psychopharmacol.* 29: 619-620. 2009.

### 総説

- 1 田中恵太郎：インターロイキン - 1 遺伝子多型と肝癌罹患リスク . 肝胆膵 59 : 1227 1235 . 2009 .

### 学会発表

#### 国際規模の学会

- 1 Yuichiro Nishida: Importance of Exercise and PGC-1 $\alpha$  Gene in the Prevention of Chronic Disease. BIT's 3rd Annual World Congress of Gene-2009. 2009, 12, 1-7. BIT's 3rd Annual World Congress of Gene-2009: 80.

#### 国内全国規模の学会

- 1 中村和代, 南里妃名子, 原めぐみ, 桧垣靖樹, 今泉 猛, 田口尚人, 坂本龍彦, 堀田美加子, 新地浩一, 田中恵太郎：メタボリックシンドロームの腹囲診断基準の検討：J-MICC Study - 佐賀地区 - . 第19回日本疫学会総会 . 2009 , 1 , 23 . *J. Epidemiol. (Suppl.)* 19(1): 148.
- 2 \*中山 蒔, 山田達夫, 西田裕一郎, 岡元統子, 綾部誠也, 田中宏暁：軽度認知障害を有する高齢者の日常身体活動水準 . 第10回日本健康支援学会 . 2009 , 2 , 20 21 . *健康支援* 11(1): 96 .

- 3 南里妃名子, 中村和代, 原めぐみ, 桧垣靖樹, 今泉 猛, 田口尚人, 坂本龍彦, 堀田美加子, 新地浩一, 田中恵太郎: 日本人中高年者の食事パターンと高感度 CRP との関連. 第19回日本疫学会総会. 2009, 1, 24. J. Epidemiol. (Suppl.) 19(1): 236.
- 4 西田裕一郎: メタボリックシンドロームにおける運動と骨格筋 PGC 1 $\alpha$  遺伝子の重要性. 第10回日本健康支援学会. 2009, 2, 20-21. 健康支援 11(1): 75.
- 5 \*吉見逸郎, 谷畑健生, 原めぐみ, 原田 久, 岡本直幸, 緒方裕光: 地域における3歳児の受動喫煙曝露の実態について. 第68回日本公衆衛生学会総会. 2009, 10, 22. 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集: 1347.

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	田中恵太郎	科学研究費補助金	基盤研究(A)	生活習慣病の予防と遺伝子環境交互作用の解明を目指した大規模コホート研究	9,360
教授	田中恵太郎	科学研究費補助金	特定領域研究(分担)	分子疫学コホート研究の支援に関する研究	7,000
教授	田中恵太郎	厚生労働科学研究費	第3次対がん総合戦略研究事業(分担)	生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価	5,000
教授	田中恵太郎	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	(分担)	身体活動の研究拠点形成	1,000
助教	原めぐみ	科学研究費補助金	若手研究(A)	地域住民の各種肝疾患の有病状況と重症度の修飾要因に関する分子疫学研究	9,490
助教	原めぐみ	厚生労働科学研究費	新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業(分担)	インフルエンザ及び近年流行が問題となっている呼吸器感染症の分析疫学研究	1,800
助教	原めぐみ	日本対がん協会	がん医療水準均てん化推進事業	こどもの卒煙を考える: 未成年・妊産婦禁煙, 医師, 歯科医師にできること	630
助教	西田裕一郎	科学研究費補助金	若手研究(B)	全身性炎症に対する肥満と身体活動の影響に関する分子疫学研究	2,300

## 環境医学分野

### 原著論文

- 1 \*Nagayoshi H, Matsumoto A, Nishi R, Kawamoto T, Ichiba M, Matsuda T.: Increased formation of gastric N2-ethylidene-2-deoxyguanosine DNA adducts in aldehyde dehydrogenase-2 knockout mice treated with ethanol. Muta. Res.; 67, 374-77. 2009.
- 2 市場正良, 高橋達也, 山下善功, 高石恵子, 西村晃一, 蒲池将史, 近藤敏弘, 松本明子, 上野大介, 宮島 徹: 佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み. 日本衛生学雑誌 64, 26-31. 2009.

- 3 三溝慎次, 山田友子, 村社加奈子, 松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫: A 群  $\beta$  溶血性連鎖球菌毒素性ショック症候群の 1 症例. 臨床麻酔. 33, 181-184. 2009.
- 4 \*Izumi R, Oishi H, Higashibata A, Yoshizaki R, Ito I, Murase H, Inoue M, Kato K, Kawashima H, Soya H, Ishioka N: Development of basic technologies for Drop-Tower Experiments on Vertebrates. Biological Sciences in Space, 23(2), 85-97. 2009.

## 総 説

- 1 市場正良: 特殊健診における生物学的モニタリングの現状と課題. 労働衛生管理 20: 3, 42-48. 2009.
- 2 市場正良: メタンガスの人体への毒性. 日本医事新報 4465, 83. 2009.

## 学会発表

### 国内全国規模の学会

- 1 田中重光, 松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫, 神田康三, 小林元太: 有明海由来 *Vibrio vulnificus* の分子生物学的性状解析. 日本農芸化学会. 2009, 3, 28. 日本農芸化学会プログラム・抄録集.
- 2 松本明子, 大石浩隆, 松本茜子, 一瀬豊日, 小山倫浩, 川本俊弘, 市場正良: 不活性型アルデヒド脱水素酵素保持者で飲酒時の酸化ストレスが緩和される. 第79回日本衛生学会. 2009, 3, 31. 日衛誌 64: 461.
- 3 彌富美奈子: (株)SUMCO での職場環境改善活動. 第17回日本産業ストレス学会 シンポジウム. 2009, 11. 産業ストレス研究 17巻: 1号, 36.

### 地方規模の学会

- 1 市場正良: 化学物質による健康障害の防止. 日本産業衛生学会九州地方会. 2009, 6, 27.
- 2 中川内章, 三溝慎次, 山田友子, 松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫: ERCP 後に重症急性膵炎を発症した 1 症例. 第19回集中治療医学会九州地方会. 2009, 7, 4. 第19回集中治療医学会九州地方会プログラム・抄録集
- 3 山田友子, 三溝慎次, 中川内章, 三浦大介, 松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫: 水疱性類天疱瘡の患者で頸部, 縦隔などに多発膿瘍を形成した一症例. 第19回集中治療医学会九州地方会. 2009, 7, 4. 第19回集中治療医学会九州地方会プログラム・抄録集
- 4 市場正良: 化学物質による健康障害の防止. 九州医師会医学会産業医学会. 2009, 11, 1.

### その他の学会

- 1 草場耕二, 中島由佳理, 於保 恵, 永沢善三, 大石浩隆, 中島幹夫, 根本二郎: LAMP 法を用いた *Vibrio vulnificus* の検出について. 第 1 回 LAMP 研修会. 2009, 3, 7.
- 2 彌富美奈子: 企業現場で行う特定保健指導について - SUMCO 佐賀・伊万里の取り組み -. 労働者体力研究会 シンポジウム. 2009, 5, 21. 産業衛生学雑誌 51巻: 4号, 46-47.
- 3 藤井敦成: 健康診断時の GHQ 12実施による, 従業員のメンタルヘルスケアの取り組みについて. 第51回電力医学会. 2009, 10, 30. 第51回電力医学会 9 1~9 8.

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	市場 正良	平成21年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	小児における室内環境空気汚染の健康影響	810

## 法医学分野

### 学会発表

#### 国内全国規模の学会

- 1 中尾賢一郎，木林和彦：脳内異物による脳の組織化学的变化の比較検討．第93次日本法医学会学術全国集会．2009，5，13-15．日本法医学雑誌 63，p61．
- 2 中尾賢一郎，木林和彦，多木 崇：脳内への異物挿入による脳組織変化．第32回日本分子生物学会年会．2009，12，9．第32回日本分子生物学会年会プログラム集 p195．

#### 地方規模の学会

- 1 中尾賢一郎，木林和彦：鉛局所曝露モデルを用いた脳組織変化の検討．第59回日本法医学会学術九州地方集会．2009，10，2-3．講演要旨集 p8．

## 国際医療コミュニケーション科学分野

### 著 書

- 1 Goro Takano: With One More Step Ahead: A Novel. BlazeVOX (Buffalo, New York, USA). Dec-09.

### 原著論文

- 1 池田豊子，大坪芳美，斎場三十四，酒見隆信：医学生の早期体験実習における学生満足度評価の検討．国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部・福岡看護学部紀要 5，69-74．2009．